



利府町ゼロカーボンシティ宣言

近年の気候変動は、私たちの生活や生態系にさまざまな影響を与え、深刻な自然災害が世界のみならず国内でも発生し、その災害は、今後、更なる頻発化・激甚化が予測される極めて深刻な状態となっています。

2015年に合意されたパリ協定では、「世界全体の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃未満とし、1.5℃に抑える努力をする」との目標が広く共有され、これを達成するためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要とされています。

本町は、東部に風光明媚な表松島の馬の背、西部に県民の森、中央部には加瀬沼公園と豊かな自然に恵まれ、その恵みを礎に今日まで発展し続けてきました。先人たちから私たちに受け継がれてきたこの自然の恵みは、これからも守っていかなければなりません。

利府町は、町民・事業者・町が連携し、持続可能で安心して暮らせるまちを次世代に引き継いでいくため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことをここに宣言します。

令和4年10月3日

利府町長 熊谷大

